

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床微生物学 I	2 年次	必修	講義	1 単位（30時間）	金子 博司 ※
授 業 概 要					
微生物の培養法、染色法、滅菌消毒法、化学療法剤とワクチンなど、微生物を取り扱う上で基本となる事項について学習する。病原細菌のうち、ブドウ球菌、レンサ球菌、ナイセリア、ブドウ糖非発酵菌、腸内細菌、レジオネラ菌等について学習する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・種の定義により形態学的、生物学的群、遺伝学的群による分類の認識を説明できる。 ・代謝産物と病原性疾患との関連性を深め免疫学的知識も併せて説明できる。 ・薬剤感受性試験の意義を説明できる。 ・機械、器具、試薬、培地、標準菌株等の細菌学的検査の精度管理を説明できる。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	微生物の培養法、染色法				金子 博司 ※
2	滅菌消毒法、化学療法剤、ワクチン				
3	グラム陽性球菌：スタフィロкокカス属				
4	グラム陽性球菌：ストレプトкокカス属、エンテロкокカス属				
5	グラム陰性球菌：ナイセリア属、モラクセラ属				
6	グラム陰性桿菌：腸内細菌科の定義、検査法全般				
7	グラム陰性桿菌：エシエリキア属				
8	グラム陰性桿菌：サルモネラ属				
9	グラム陰性桿菌：シゲラ属				
10	グラム陰性桿菌：クレブジエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、 プロテウス属、プロビデンシア属				
11	グラム陰性桿菌：ビブリオ属				
12	グラム陰性桿菌：ビブリオ属、エロモナス属				
13	グラム陰性桿菌：シュードモナス属				
14	グラム陰性桿菌：レジオネラ属、ヘモフィルス属、				
15	グラム陰性桿菌：フランシセラ属、百日咳菌、ブルセラ属				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義は微生物に関する画像を多用するので、理解度向上のため、復習を欠かさず実施すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
生物学、感染生体防御学					
教科書、参考書					
[教科書] 臨床検査学講座 臨床微生物学 医歯薬出版 [参考書] 病気がみえる 免疫・膠原病・感染症 メディックメディア					